

- morphology in early and late secondary alveolar-bone-grafted unilateral cleft lip and alveolar process patient. 平成19年度新潟歯学会第1回例会, 新潟, 2007. 7. 11.
- 24) 桜井直樹, 荒井良明, 高木律男, 林孝文, 野村修一, 西山秀昌, 安島久雄, 高田佳之, 佐藤一夫, 福井忠雄, 細貝暁子, 加藤一誠, 宮島久, 岡崎敦子: IPTV電話を応用した顎関節症遠隔診断の試み. 第20回日本顎関節学会学術大会, 仙台, 2007. 7. 14-15.
- 25) 越知佳奈子, 山添清文, 松原大樹, 森田修一, 齋藤功: 歯列-歯槽部の三次元解析システムの開発-第2報 上顎歯列への応用-. 第66回日本矯正歯科学会大会, 大阪, 2007. 9. 19-21, 抄録集: 109, 2007.
- 26) 渡邊洋平, 毛利環, 福田純一, 芳澤享子, 齋藤功: 矯正治療における歯根完成歯自家歯牙移植の長期臨床的術後経過-移植歯の成績と患者の評価について. 第66回日本矯正歯科学会大会, 大阪, 2007. 9. 19-21, 抄録集: 200, 2007.
- 27) 金山潔, 渡邊直子, 竹山雅規, 中村順一, 八巻正樹, 寺田員人, 齋藤功: 矯正治療終了後における咬合状態の長期的変化. 第66回日本矯正歯科学会大会, 大阪, 2007. 9. 19-21, 抄録集: 201, 2007.
- 28) 澤田美穂, 八巻正樹, 竹山雅規, 中村順一, 森田修一, 齋藤功: 矯正単独治療による下顎前突の治り方-下顎骨の時計方向への回転を予測する. 第66回日本矯正歯科学会大会, 大阪, 2007. 9. 19-21, 抄録集: 212, 2007.
- 29) 寺田員人, 吉田満, 佐野奈都貴, 松原大樹, 小原彰浩, 齋藤功, 森嶋繁生: 外科的矯正治療後のスマイルの三次元的変化. 第66回日本矯正歯科学会大会, 大阪, 2007. 9. 19-21, 抄録集: 251, 2007.
- 30) 永井正紀, 小林正治, 長谷部大地, 加納浩之, 五島秀樹, 齋藤功, 齋藤力: 下顎前突症患者に対する上下顎移動術後の顎骨安定性について. 平成19年度第2回歯学会例会, 新潟, 2007. 11. 10, 抄録集: 37, 2007.
- 31) 相川弦, 高田佳之, 小林正治, 齋藤功, 林孝文, 齋藤力: 顎変形症患者の顎関節症状と骨格形態との関連について. 平成19年度第2回歯学会例会, 新潟, 2007. 11. 10, 抄録集: 37, 2007.
- 32) 渡邊洋平, 毛利環, 竹山雅規, 八巻正樹, 芳澤享子, 福田純一, 齋藤力, 高木律男, 興地隆史, 齋藤功: 矯正治療患者における歯根完成歯自家移植の長期臨床的術後経過-移植歯の成績と患者の評価について-. 平成19年度第2回歯学会例会, 新潟, 2007. 11. 10, 抄録集: 37, 2007.
- 33) 三瀬泰, 森田修一, 八巻正樹, 齋藤力, 高木律男, 齋藤功. 重度の上顎前突症例における治療前後の硬, 軟組織側貌変化-外科的矯正治療と矯正単独治療との比較-. 平成19年度第2回歯学会例会, 新潟, 2007. 11. 10, 抄録集: 37, 2007.

【その他】

- 1) 齋藤功: 歯並び(矯正)治療の歴史. あさひまち展示館提供セミナー『歯科の歴史-歯科治療の変遷-』, 新潟市・新潟大学駅南CLLIC, 2007. 10. 24.
- 2) 古里美幸: 片側性唇顎口蓋裂患者の成長発育に伴う外鼻形態の変化について. 新潟歯学会雑誌, 37: 57-59, 2007.
- 3) 鳥巢隆弘: 顎顔面形態と筋突起形態との関連性について-横断的資料を用いた統計的評価-. 新潟歯学会雑誌, 37: 227-230, 2007.

【訳書】

- 1) Hans Pancherz, Sabine Ruf (著): 毛利環, 加治彰彦, 宮島邦彰 (訳): (伊藤学而, 中島榮一郎, 山本照子, 清水典佳, 大塚裕純編). 別冊 the Quintessence 臨床家のための矯正 YEAR BOOK 2007 グレード別症例から学ぶ治療の実際. クインテッセンス出版, 219 - 233, 2007.

【受賞】

- 第66回日本矯正歯科学会大会 優秀発表賞
 渡邊洋平, 毛利環, 福田純一, 芳澤享子, 齋藤功: 矯正治療における歯根完成歯自家歯牙移植の長期臨床的術後経過-移植歯の成績と患者の評価について-, 大阪, 2007. 9. 19-21.

小児歯科学分野

【論文】

- 1) Hayashi-Sakai S, Watanabe J, Taguchi Y and Noda T: Occlusal guidance for unilateral scissors bite in primary dentition: A case report. Ped Dent J, 17(2): 160-166, 2007.
- 2) Kitagawa J, Shingai T, Kajii Y, Takahashi Y, Taguchi Y and Matsumoto S: Leptin modulates the response to oleic acid in the pharynx. Neurosci Lett, 423(2): 109-112, 2007.
- 3) Sato T, Matsuyama J, Mayanagi G, Abiko Y, Kato K and Takahashi N: Nested PCR for the sensitive detection of cariogenic bacteria. Cariology Today 3(1): in press, 2007.
- 4) Taguchi Y, Hayashi-Sakai S and Tsuda T: Severe cases of ectopically erupting maxillary canine with

excessive mesial angulation. *Ped Dent J*, 18(1): in press, 2008.

- 5) Numa N, Ishida Y, Nasu M, Sohda M, Misumi Y, Noda T and Oda K: Molecular basis of a perinatal hypophosphatasia with tissue-nonspecific alkaline phosphatase bearing a valine-to-alanine change at position of 406: Implication for structural importance of the crown domain. *FEBS J*, 275 : 2727-2737, 2008.
- 6) 梶井友佳, 田口 洋, 野田 忠: 本学小児歯科外来における25年間の初診患者実態調査 - 1980, 1988, 1996, 2004年の比較 -. *小児歯誌*, 45 (3) : 384-392, 2007.
- 7) 寺田員人, 小野和宏, 八木 稔, 吉羽邦彦, 山本幸司, 小林正治, 飯田明彦, 櫻井直樹, 竹石英之, 毛利 環, 朝日藤寿一, 松山順子, 田中 礼, 瀬尾憲司, 寺尾恵美子, 知野優子, 吉岡節子, 大内章嗣, 北村絵里子, 齋藤 功, 齋藤 力, 児玉 泰光, 高木律男, かづきれいこ: 新潟大学医歯学総合病院(歯科)における口蓋裂診療班の活動について, *日口蓋誌*, 32 : 43-56, 2007.
- 8) 杉林篤徳, 木下承子, 田口 洋, 野田 忠: 歯の外傷およびマウスガードに関するアンケート調査 - サッカースクールの指導者と保護者との比較 -. *小児歯誌*, 45 (4) : 451-457, 2007.

【著書】

- 1) Matsuyama J, Sato T, Takahashi N, Sato M and Hoshino E: Real-time PCR analysis of genera *Veillonella* and *Streptococcus* in healthy supragingival plaque biofilm microflora of children. In: *Interface Oral Health Science 2007*, Springer, Tokyo, 255-256, 2007.
- 2) Sato T, Abiko Y, Mayanagi G, Matsuyama J and Takahashi N: Detection of periodontopathic bacteria in periodontal pockets by nested polymerase chain reaction. In: *Interface Oral Health Science 2007*, Springer, Tokyo, 267-268, 2007.

【商業誌, その他】

- 1) 田口 洋: 上顎犬歯萌出障害の早期診断と治療. *クリニカルトピックス*, 「新歯界」平成19年度7月号(通巻665号), 2007.
- 2) 田口 洋, 林-坂井 幸子, 津田 高: 埋伏上顎犬歯への対応 - 重度症例と軽度症例との類似点 -. *小児歯科臨床*, 13 (1) : 45-52, 2008.

【研究成果報告書】

- 1) 大島邦子, 大島勇人, 原田英光: 自家および他家移植実験を応用した歯髄分化能の解明. 平成18-19年度科学研究費補助金, 基盤研究(C) 課題番号18592232, 2008年.
- 2) 大島邦子: 他家移植実験による歯髄幹細胞の多分化能の検索. 平成19年度新潟大学プロジェクト推進経費, 2008年.
- 3) 佐藤拓一, 島内英俊, 高橋信博, 八巻恵子, 松山順子: 根尖性歯周炎の微生物叢の網羅的定量的プロファイリング-歯内療法にフィードバック可能な, 新たな微生物学的評価法の開発・提唱に向けて-. 平成17-19年度科学研究費補助金, 基盤研究(C) 課題番号17591985, 2008年.
- 4) 佐野富子: 唾液中フェニトイン濃度を用いた薬物性歯肉増殖症の発症機構に関する研究. 平成18-19年度科学研究費補助金, 若手研究(B) 課題番号18791549, 2008年.
- 5) 河野承子: 膜蛋白異常症をもたらす遺伝子・タンパクを指標にしたエナメル質形成機構. 日本学術振興会科学研究費補助金, 若手研究(B) 課題番号19791633, 2008年.
- 6) 河野承子: 歯牙組織におけるカルサイクリンの発現とその存在意義. 平成19年度新潟大学プロジェクト推進経費(若手研究者奨励研究), 2008年.
- 7) 坂井幸子(林幸子): EPMA 元素マッピングからみた多方向荷重における象牙質面内異方性の解明. 平成18-19年度科学研究費助成金, 若手研究(B) 課題番号18791548, 2008年.
- 8) 飯澤二葉子: 萌出障害歯の萌出能と歯根膜の組織活性の関係についての組織学的・分子生物学的調査. 2007年度(財)富徳会研究助成金, 2008年.

【学会発表】

- 1) Sano T, Tomizawa M and Taguchi Y: Hereditary gingival fibromatosis: A case report. The 21st Congress of International Association of Paediatric Dentistry, Hong Kong, 2007. 6.13-17, *Int J Paediatr Dent*, 17 (Suppl.1): 63, 2007.
- 2) Tomizawa M, Sano T and Kinoshita S: Supernumerary lower primary and succedaneous incisors accompanied by bone swelling. The 21st Congress of International Association of Paediatric Dentistry, Hong Kong, 2007. 6.13-17, *Int J Paediatr Dent*, 17 (Suppl.1): 67, 2007.
- 3) Hayashi-Sakai S, Sakai J, Kitamura T, Sakamoto M and Taguchi Y: An 11-year-old boy with 47, XYY: A case report. The 21st Congress of International

- Association of Paediatric Dentistry, Hong Kong, 2007. 6.13-17, *Int J Paediatr Dent*, 17 (Suppl.1): 50, 2007.
- 4) Numa N, Ishida Y, Nasu M, Oda K: Characterization of tissue-nonspecific alkaline phosphatase with a valine-alanine substitution, 第7回 ALPS 研究会, 神戸, 2007.7.28.
 - 5) Ishikawa Y, Nakakura-Ohshima K, Kenmotsu S, Suzuki H, Han-Sung Jung, Ohshima H: Responses of dental pulp stem cells against exogenous stimuli, 9th International Conference on Tooth Morphogenesis and Differentiation, Zurich, 2007.9.4-8.
 - 6) Kawano Y, Kinoshita-Kawano S, Nozawa-Inoue K, Suzuki A, and Maeda T: Calcyclin expression in odontogenesis in rats: an identification with ACP DDRT-PCR method, 29th Annual Meeting of the American Society for Bone and Mineral Research, Honolulu, USA, September 16 - 19, 2007.
 - 7) Ishikawa Y, Nakakura-Ohshima K, Kenmotsu S, Suzuki H, Jung HS, Ohshima H: Responses of dental pulp stem cells against exogenous stimuli in rat and mouse molars. Gordon Research Conferences: Craniofacial Morphogenesis & Tissue Regeneration, Lucca (Barga), Italy, 2008. 2. 10-15.
 - 8) 河野承子, 杉林篤徳, 津田 高, 田口 洋: 新潟大学医歯学総合病院小児歯科診療室でのマウスガード製作患者の実態およびアンケート調査. 第18回日本スポーツ歯科医学会学術大会・総会, 沖縄, 2007.6.30-7.1.
 - 9) 高森泰彦, 鈴木啓展, 大島邦子, 大島勇人: 歯髄には象牙芽細胞および骨芽細胞への分化能をもつ細胞群が存在する. 平成19年度新潟歯学会第1回例会, 新潟 2007.7.14, *新潟歯学会雑誌*, 37 (2) : 68, 2007.
 - 10) 海野秀基, 鈴木啓展, 大島邦子, 大島勇人: マウス顎骨への歯の他家移植後の歯髄再生過程と分化能. 平成19年度新潟歯学会第1回例会, 新潟 2007.7.14, *新潟歯学会雑誌*, 37 (2) : 68, 2007.
 - 11) 原田政広, 大島邦子, 大島勇人: ラット臼歯窩洞形成後の歯髄における細胞増殖と分化との関係について. 平成19年度新潟歯学会第1回例会, 新潟 2007.7.14, *新潟歯学会雑誌*, 37 (2) : 69, 2007.
 - 12) 津田 高, 飯澤二葉子, 三富智恵, 田口 洋, 野田 忠: 上顎中切歯に発生した良性セメント芽細胞腫. 第45回日本小児歯科学会大会, 千葉, 2007.7.19. *小児歯誌*, 45 (2) : 300, 2007.
 - 13) 田口 洋, 津田 高, 林-坂井幸子, 野田 忠: 埋伏上顎犬歯の重度症例への対応. 第45回日本小児歯科学会大会, 千葉, 2007.7.19. *小児歯誌*, 45 (2) : 301, 2007.
 - 14) 川崎勝盛, 松山順子, 三富智恵, 田口 洋, 野田 忠: 小児の成長発育に伴う食べ方の成熟に関する研究 - 一口量に関する分析 -. 第45回日本小児歯科学会大会, 千葉, 2007.7.20. *小児歯誌*, 45 (2) : 323, 2007.
 - 15) 石川裕子, 大島邦子, 大島勇人: ラット臼歯歯髄組織幹細胞の局在と歯の損傷後の分化能について. 第49回歯科基礎医学会学術大会・総会, 札幌, 2007. 8. 29-31, *J Oral Biosci*, 49 (Suppl) : 177, 2007.
 - 16) 大島勇人, 石川裕子, 鈴木啓展, 大島邦子: マウス臼歯再植および他家移植後の歯髄組織幹細胞の動態と硬組織形成能について. 第49回歯科基礎医学会学術大会・総会, 札幌, 2007. 8. 29-31, *J Oral Biosci*, 49 (Suppl) : 101, 2007.
 - 17) 三富智恵, 飯澤二葉子, 田口 洋, 富沢美恵子: 悪性腫瘍患児における歯の形成障害-造血幹細胞移植症例について-, 第25回日本小児歯科学会北日本地方会大会, 新潟, 2007.10.20.
 - 18) 川崎勝盛, 松山順子, 三富智恵, 田口 洋: 年齢による食べ方の変化・第2報 - 食べ方の成熟に関する横断的研究 -. 第25回日本小児歯科学会北日本地方会, 新潟, 2007.10.20.
 - 19) 川崎勝盛, 松山順子, 三富智恵, 佐野富子, 田口洋: 小児における成長に伴う一口量の変化の分析 - 横断的および縦断的研究 -. 平成19年度新潟歯学会例会, 新潟, 2007. 11.10.
 - 20) 筒井 睦, 佐野富子, 田口 洋, 富沢美恵子: 色選択を用いた歯科診療前後における小児の心理状態の把握, 平成19年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2007. 11. 10
 - 21) 大島邦子, 田口 洋: 自傷予防を目的としたマウスガードの応用-先天性無痛症, 脳性麻痺, 自閉症-. 第24回日本障害者歯科学会総会および学術大会, 長崎, 2007. 11.24 - 25, *日本障害者歯科学会雑誌*, 28 (3) : 309, 2007.
 - 22) 筒井 睦, 佐野富子, 中村紀子, 人見さよ子, 中野智子, 嘉藤幹夫, 大東道治: 障害者の歯科診療時の心理-切削音に対する恐怖と色彩反応について- 第24回日本障害者歯科学会総会および学術大会, 長崎, 2007. 11. 24-25, *プログラム・抄録集* : 459, 2007.
 - 23) 河野芳朗, 河野承子, 井上佳世子, 鈴木晶子, 前田健康: ラット臼歯発生におけるカルサイクリンの発現. 第113回日本解剖学会総会・全国学術集会, 大分, 2008.3.27-29, *解剖学雑誌*, 83 (抄) : 183, 2008.
 - 24) 大島勇人, 石川裕子, 鈴木啓展, 監物新一, 大島邦

子, 本田雅規, 石井有実子, 渡辺信和: ラット臼歯
歯髓に存在する組織幹細胞について, 第 113 回日本
解剖学会総会・全国学術集会, 大分, 2008. 3.
27-29, 解剖学雑誌, 83 (抄): 2008.

【講演・シンポジウム】

- 1) Numa, N., Ishida, Y., Nasu, M. and Oda K. :
Molecular basis of hypophosphatasia: Analysis of
tissue-nonspecific alkaline phosphatase with a
V406A substitution, 5th International Alkaline
Phosphatase Symposium, France, 2007.5.16-19.
- 2) 田口 洋: 子どもの『食べる』 - 機能の基礎づく
り -. 平成 19 年度新潟県下越地区地域歯科保健研
修会, 新発田, 2007.10.25.
- 3) 田口 洋: 小児歯科での病診連携 - 成育歯科とし
ての観点から -. 平成 19 年度新潟県歯科医師会医
院経営安定化セミナー, 新潟, 2007.11.15.
- 4) 田口 洋: 楽しくおいしく食べるために - 食育と
口の健康 -. 平成 19 年度第 25 回柏崎市歯科保健指
導者研修会, 柏崎, 2008.2.4.

【その他】

- 1) 田口 洋: 『食べる』の科学. 平成 19 年度新潟大学
G - コード科目「新潟発『食べる』」, 新潟大学,
2007.4.13.
- 2) 大島邦子: 『食べる』ことと口の健康. 平成 19 年度
新潟大学 G - コード科目「新潟発『食べる』」, 新潟
大学, 2007.4.27.
- 3) 松山順子: 乳幼児期からのむし歯予防と治療. 新潟
大学医歯学総合病院口蓋裂診療班, 平成 19 年度第
2 回母親教室, 2007. 7.3.
- 4) 野田 忠, 田口 洋: 世界の食べ物, 『食べる』ま
とめ. 平成 19 年度新潟大学 G - コード科目「新潟
発『食べる』」, 新潟大学, 2007.7.27.
- 5) 大島邦子: 障害児者の歯科治療と介助. 新潟大学医
歯学総合病院看護師勉強会, 新潟, 2007.9.21
- 6) 田口 洋: 日本人小児の口の機能発達と病気. 平成
19 年度日本事情自然系 B (留学生), 新潟大学,
2007.10.31.
- 7) 大島 邦子: 自閉症患者の歯科治療. 平成 19 年度
歯科臨床研修医セミナー, 新潟, 2008.2.13.
- 8) 田口 洋: 歯の萌出障害の臨床. 平成 19 年度歯科
臨床研修医セミナー, 新潟, 2008.2.20.
- 9) 田口 洋: 楽しくおいしく食べるために - 食育と
口の健康 -. さの小児歯科研修セミナー, 富山,
2008.2.23.

顎顔面放射線学分野

【論文】

- 1) Maeda T, Ono K, Ohuchi A, Hayashi T, Saito I,
Okiji T, Uoshima K: An evaluation of problem-
based learning course at the Niigata University
Faculty of Dentistry. Dentistry in Japan,
43:166-171, 2007.
- 2) Koyama J, Nishiyama H, Hayashi T: Follow-up
study of condylar bony changes using helical
computed tomography in patients with
temporomandibular disorder. Dentomaxillofac
Radiol, 36(8):472-477, 2007.
- 3) Nishizawa R, Nagata M, Noman AA, Kitamura N,
Fujita H, Hoshina H, Kubota T, Itagaki M,
Shingaki S, Ohnishi M, Kurita H, Katsura K, Saito
C, Yoshie H, Takagi R: The 2G allele of promoter
region of Matrix metalloproteinase-1 as an
essential pre-condition for the early onset of oral
squamous cell carcinoma. BMC Cancer, 7:187, 2007.
- 4) Sawair FA, Cheng J, Hao N, Maruyama S, Hoshina
H, Takagi R, Koyama J, Hayashi T, Saku T:
Periosteal osteosarcoma of the jaw bones: a
clinicopathological review. Oral Med Pathol,
12:3-10, 2007.
- 5) Tanaka R, Hayashi T: Computed tomography
findings of chronic osteomyelitis involving the
mandible: correlation to histopathological findings.
Dentomaxillofac Radiol, 37(2):94-103, 2008.
- 6) 若松孝典, 八巻正樹, 花田晃治, 林 孝文, 齋藤
功: 顔面非対称を伴う下顎前突症患者における顎骨
非対称の三次元評価. 日顎変形誌, 17 (1) :29-36,
2007;.
- 7) 田中 礼, 林 孝文: 顎顔面骨形態の 3 次元計測法
の提案. 日骨形態誌, 17 (2) :7-14, 2007.
- 8) 佐久間久美子, 五十木裕子, 田中 礼, 林 孝文:
根尖病変の超音波診断 - CT との比較 -. 歯科放射
線, 47 (2) :53-64, 2007.
- 9) 斎藤美紀子, 菅原由美子, 笹野高嗣, 阪本真弥, 示
野陽一, 林 孝文: 診断に苦慮した鼻口蓋管嚢胞の
2 例. 日口診誌, 2007;20 (1) :108-113.

【著書・総説】

- 1) 出雲俊之, 大関 悟, 岡田憲彦, 岡部貞夫, 岡崎雄
一郎, 桐田忠昭, 草間幹夫, 佐藤 徹, 篠原正徳,
新谷 悟, 田中陽一, 中山英二, 林 孝文, 宮崎晃
亘, 山根正之: 下顎歯肉癌取扱い指針 ワーキング・
グループ案 (第 1 版). 日本口腔腫瘍学会学術委員